



ユーザ事例
IT サービス企業

JSOL

NTT DATA Trusted Global Innovator
NTT DATA Group

株式会社 JSOL

JSOLが顧客企業向けの仮想化基盤を刷新し、パフォーマンスと信頼性・可用性を大幅に向上させました。本システムでは、データ保護とBCP対策を強化するために、オンプレミスとパブリッククラウドを連携させる理想的なハイブリッド運用を実現しています。

仮想化基盤のデータ保護・BCP対策強化を Cloud Volumes ONTAP for AWS と オールフラッシュアレイ (AFF) のクラウド連携で実現

JSOLがNetAppオールフラッシュアレイを採用し、顧客企業向けの仮想化基盤を刷新しました。中核となるストレージシステムのパフォーマンスと信頼性・可用性を強化することで、仮想化基盤全体のサービス品質を向上させることができます。さらに、NetApp Cloud Volumes ONTAP for AWSを採用し、Amazon Web Service (AWS)とNetApp AFFを連携させるデータ保護・BCP対策の仕組みが整備されました。ネットアップのビジョン「データファブリック」を具現化したハイブリッドクラウドの先進事例です。

オンプレミスとクラウドを
連携させる

DR 環境
を実現

重複排除・圧縮により
データ量を

最大50%削減

お問い合わせ

 NetApp®

“Cloud Volumes ONTAPは、AWSを利用したDR環境の構築が可能なだけでなく、AWSのコンピュートリソースを使って「決められた時間内にサービス再開が可能」であることが選定の決め手になりました。また、ライセンス体系が柔軟で、他のクラウドバックアップソリューションよりもコストを抑えることができました”

株式会社JSOL

基盤サービスビジネス事業部

認定プロフェッショナルITアーキテクト 川邊 哲也 氏

チャレンジ

SaaSのサービス品質向上に向け

ストレージ環境を全面刷新

JSOLは、日本総合研究所とNTTデータのグループ企業として、ICTコンサルティング、システム構築、運用アウトソーシングまで一貫したサービスを提供しています。JSOLのブランドメッセージである『今は無い、答えを創る。』には、一人ひとりが最強の専門家となり、ICTコーディネーターとして高品質なサービスを提供する強い意志が込められています。基盤サービスビジネス事業部 認定プロフェッショナルITアーキテクトの川邊哲也氏は、次のように話します。

「基盤サービスビジネス事業部では、ICTインフラのグランドデザインから、設計・構築・運用支援サービス、データセンターサービスなどをトータルに提供しています。オンプレミス、クラウド、ハイブリッド環境など選択肢が広がる中、ICTインフラのエキスパートチームとして常にお客様に最適な答えを追求しています」

基盤サービスビジネス事業部が担うのは、企業の中核を支える業務アプリケーション基盤や、ビジネスクリティカルなサービス基盤を中心。中でも、顧客企業が占有するシステムを最適

に設計・構築し、運用を含めたマネージドクラウドとして提供するサービスが高く評価されています。

「あるサービスプロバイダー様では、JSOLのデータセンターに仮想化基盤を構築し、数百社の顧客企業向けにアプリケーションサービス(SaaS)を提供しています。より高品質なサービス提供を目指すこのお客様のご要望に応えるために、2017年から2018年にかけて仮想化基盤を全面的にリニューアルしました」(川邊氏)

刷新プロジェクトにおいて、川邊氏を中心とするチームは「ストレージ環境を強化して仮想化基盤全体のサービス品質を向上させる」という基本方針を掲げました。

「既存ストレージをオールフラッシュアレイに刷新し、パフォーマンスを大幅に改善するとともに信頼性・可用性の向上も同時に追求しました。さらに、データ保護・災害対策の強化も目指しました」と川邊氏は振り返ります。

オールフラッシュアレイ製品の選択肢は増えているものの、JSOLが追求する「お客様に最適な答え」に合致した製品は多くはなかったといいます。

「私たちが選んだのはNetApp AFFです。



株式会社JSOL
基盤サービスビジネス事業部
認定プロフェッショナルITアーキテクト
川邊 哲也 氏

実績豊富なレプリケーション機能SnapMirrorでバックアップの高速化が可能になると考えました。VMwareと連携したバックアップ&リストアの確実性では、他の製品よりも明らかに優位性がありました。さらに、NetApp Cloud Volumes ONTAPによる、パブリッククラウドと連携したデータ保護・BCP対策も視野に入っていました」(川邊氏)

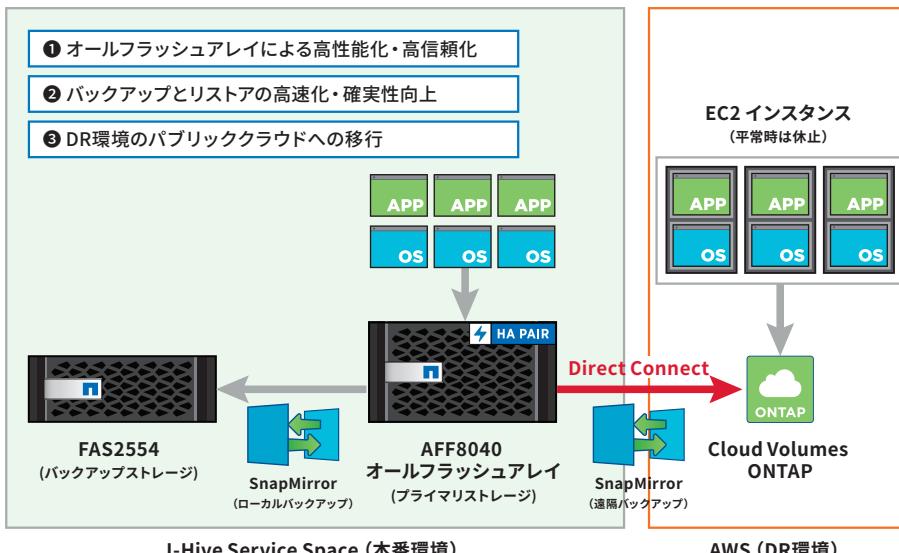
ソリューション

NetApp AFFを採用し

ストレージ環境の性能と信頼性を強化

NetApp AFFは、業界をリードするパフォーマンスと、NetApp ONTAP 9のデータ管理機能が高く評価されているオールフラッシュアレイ製品です。プライマリーストレージとして導入されたNetApp AFFは、本環境では3.8TBの大容量SSDを採用して効率的に実効容量を確保しています。

「複数のオールフラッシュ製品を検討



した結果、NetApp AFFなら私たちの要件に完全に応えてくれることがわかりました。優れたパフォーマンス、エンタープライズクラスの信頼性・可用性、バックアップとリストアの効率性、フラッシュ/ディスク/クラウド間でスムーズなデータ移動が可能なことが採用の決め手になりました」と川邊氏は話す。

本サービス基盤刷新のポイントは次の通りです。

- ① オールフラッシュアレイによる高性能化・高信頼化
- ② バックアップとリストアの高速化・確実性向上
- ③ DR環境のパブリッククラウドへの移行

「既存のストレージからNetApp AFFに移行したこと、高負荷時でも安定的なパフォーマンスが得られるようになりました。また、HDD障害への対応から解放されたことは大きいですね。導入から1年以上経過しましたがSSDの故障は一度も発生していません」(川邊氏)

最新のNetApp AFF Aシリーズは、業界で初めて30TB SSDに対応し、フラッシュに特化した書き込み処理の最適化など最先端のONTAPテクノロジー

を利用できます。

「オールフラッシュアレイは高コストなイメージがありますが、一定規模以上であれば容量あたりのコストでもHDDより有利になります。本環境では、シンプロビジョニングを利用して容量効率を高めるとともに、オンライン重複排除とデータ圧縮機能によりデータ量を最大で50%削減しています」(川邊氏)

Cloud Volumes ONTAP for AWSによりハイブリッド環境でデータを保護

「もうひとつのテーマである『データ保護』も大幅に強化されました。オンプレミスの仮想化基盤では、SnapMirrorによる高速な2次バックアップを実施。さらに2018年4月からは、Cloud Volumes ONTAP for AWSを利用して、NetApp AFFからAmazon Web Service (AWS)へのバックアップでデータを三重化しています」と川邊氏は話します。

SnapMirrorは、NetAppが提供する包括的なバックアップソリューションの中核機能として豊富な実績を誇ります。オンラインでバックアップイメージを瞬時に取得するSnapshotと、高速な復元を実現するSnapRestoreを組み合わせることで、安全で確実性の高い

データ保護・BCP対策を実現。ネットワーク帯域が限られた環境でも短時間でのデータ同期が可能です。

また、Cloud Volumes ONTAP for AWSは、強力なONTAPストレージOSの機能をAWS上で利用できる製品です。AWS上に構築したシステムでも、ONTAPによるオンプレミス環境と同等レベルでのデータ管理とデータアクセスを実現するソリューションです。

「Cloud Volumes ONTAPとSnapMirrorを利用したAWS上のデータ保護を、オンプレミスでのローカルバックアップと同じ感覚で行えることは大きなメリットですね」と川邊氏はその使い勝手を評価します。

Amazon EC2上の仮想サーバーは通常時は停止してコストを抑えつつ、必要な時だけインスタンスを立ち上げて速やかに業務を再開できる仕組みが構築されています。

「Cloud Volumes ONTAPは、AWSを利用したDR環境の構築が可能だけでなく、AWSのコンピュートリソースを使って『決められた時間内にサービス再開が可能』であることが選定の決め手になりました。また、ライセンス体系が柔軟で、他のクラウドバックアップソリューションよりもコストを抑えることができました」と川邊氏は話す。

ベネフィット

「データファブリック」ビジョンとともにネットアップとの協業をさらに推進

「Cloud Volumes ONTAP と SnapMirror は、データ保護と BCP 対策のためにハイブリッドクラウドを利用するひとつの理想形です。このアプローチの先には、オンプレミスとクラウドを結ぶデータの最適配置とリソースの最適活用、置き場所を意識させないシームレスなデータ活用が可能な環境が見えてきます」

川邊氏が言う「ハイブリッド環境におけるデータの最適配置とリソースの最適活用」と「置き場所を意識させないシームレスなデータ活用」が可能な環境こそ、ネットアップのビジョン「データファブリック」が目指している世界です。

「また、NetApp Cloud Sync を利用して、AWS のコンピュートリソースと Amazon S3 オブジェクトストレージで、コストを抑えながら業務データの分析基盤を構築できないか構想を練っています」(川邊氏)

データファブリックのビジョンに基づいて開発された Cloud Sync は、オンプレミスの ONTAP 環境から AWS への高速なデータ移動と、NFS ベースのデータセットから S3 オブジェクト形式への変換を担うユニークなサービスです。ハイブリッド環境におけるシームレスなデータ活用を具現化するソリューションとして注目を集めています。

最後に川邊氏は、次のように締めくくりました。

「ネットアップは、ストレージベンダーの中で最もパブリッククラウドとの連携が進んでいると感じています。Ansible と連携する構成自動化への取り組みでも一歩リードしていますね。『データファブリック』というビジョンは明快で、私たちのお客様にとってもわかりやすい。オンプレミスからパブリッククラウドまでを網羅するデータの統合管理を、いっそう容易にしてくれることを期待します」

ソリューションの構成

ネットアップ製品

NetApp Cloud Volumes ONTAP for AWS

NetApp AFF 8040
オールフラッシュアレイ

NetApp FAS 2554

株式会社 JSOL



詳細はこちら

<https://www.netapp.com/jp/products/cloud-storage/cloud-volumes/>

✉ お問い合わせ

03-6870-7400



NetApp®

ネットアップ株式会社

TEL:03-6870-7600

Email:ng-sales-inquiry@netapp.com

ネットアップは、ハイブリッド クラウドのデータに関するオーバーリティです。クラウド環境からオンプレミス環境にわたるアプリケーションとデータの管理を簡易化し、デジタル変革を加速する包括的なハイブリッド クラウド データサービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。

詳細については、www.netapp.com/jpをご覧ください。

#DataDriven

© 2018 NetApp, Inc. All rights reserved.

記載事項は、予告なく変更される場合があります。

内容の一部または全部を NetApp, Inc の許可なく使用・複製することはできません。NetApp, NetApp ロゴ、SolidFire は、米国および他の国における NetApp, Inc の登録商標です。その他記載のブランド・製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。CSS-7049-1018-JP